

|                                   |     |                    |       |      |
|-----------------------------------|-----|--------------------|-------|------|
| 授業科目名                             |     | 対象学科・専攻            | 年次    | 期別   |
| 現代教師論<br>Teaching Modern Teachers |     | 児童教育学科<br>幼児教育学専攻  | 1年次   | 前期   |
| 講義・演習・実技・<br>実習・実験                | 単位数 | 教員免許状取得<br>必修/選択必修 | 担当教員  | 担当形態 |
| 講義                                | 2   | 必修                 | 木村 一恵 | 単独   |

|                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| 科目             | 施行規則に定める科目区分又は事項等                  |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） |

**〇コアカリキュラム：教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）**

全体目標：現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。

(1) 教職の意義  
一般目標：我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。  
到達目標：1) 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。  
2) 進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解している。

(2) 教員の役割  
一般目標：教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。  
到達目標：1) 教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。  
2) 今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。

(3) 教員の職務内容  
一般目標：教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。  
到達目標：1) 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。  
2) 教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。  
3) 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。

(4) チーム学校への対応  
一般目標：学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。  
到達目標：1) 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

| 【全体目標及び概要】  |       |
|---|-------|
| 現代社会における幼児教育の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、適性を判断し、進路選択に資する教職のあり方を理解する。<br>未来を担う子どもたちの保育・教育にあたる保育者の役割と倫理、専門性について学ぶ。<br>保育者としてだけでなく、人間として成長していくことと専門職としての成長について学ぶ。 |       |
| 【一般目標及び到達目標】  | 目標対応  |
| (1) 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。<br>1) 幼稚園教育の目的とその担い手である教員（保育者）の存在意義を理解している。  | (1)-1 |
| 2) 他の職業と幼稚園等教職である専門職を比較することを通して理解している。  | (1)-2 |
| (2) 幼児教育の動向を踏まえ、今日の教員（保育者）に求められる役割や資質能力を理解する。<br>1) 子どもたちのおかれている社会の現状を理解する。   | (2)-1 |
| 2) 幼児教育観の変遷を踏まえ、今日の教員（保育者）に求められる役割を理解している。  | (2)-1 |
| 3) 今の教員（保育者）に求められる基礎的な資質能力を理解している。  | (2)-2 |
| (3) 教員（保育）の職務内容の全体像や、課せられる服務上、身分上の義務を理解する。<br>1) 幼児への指導及び地域の子育て家庭への支援等、教員（保育者）の職務の全体像を理解している。   | (3)-1 |
| 2) 専門職として適切に職務を遂行するため、学び続けることの必要性を理解している。   | (3)-2 |
| 3) 教員に課せられる服務上、身分上の義務を理解している。   | (3)-3 |
| (4) 幼稚園の担う役割が多様化する中で幼稚園内外の専門家等と連携する必要性について理解する。<br>1) 幼稚園内の教職員や専門性を持つ人材と連携し、組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。  | (4)-1 |

| 回数          | 現代教師論 授業内容 【木村一恵】   | 到達目標の番号                | コアカリキュラム対応             |
|-------------|---|------------------------|------------------------|
| 1           | 教職を目指すに当たって、「人としてどう生きるか」についてグループ討議をし、さまざまな考え方のあることを学ぶ。                | (1) 1) 2)              | (1)-1)、2)              |
| 2           | 現代の子どもたち、親の生活の現状を理解する。  | (2) 1)                 | (2)-1)                 |
| 3           | 教員（保育者）の役割、倫理、資質について学ぶ。   | (1) 1) 2)<br>(2) 2) 3) | (1)-1)、2)<br>(2)-1)、2) |
| 4           | 教員（保育者）の性差について討議し、性差の是非について理解する。                                      | (1) 2)<br>(2) 2) 3)    | (1)-2)<br>(2)-1)、2)    |
| 5           | 子どもの命を守る保育・教育について学ぶ。  | (1) 1) 2)<br>(2) 2) 3) | (1)-1)、2)<br>(2)-1)、2) |
| 6           | 子どもの求める理想の教師像（保育者像）について具体的に考えを述べる。                                    | (1) 1)<br>(2) 2) 3)    | (1)-1)<br>(2)-1)、2)    |
| 7           | 保護者の求める理想の教師像（保育者像）について具体的に考え意見交換をする。                                 | (1) 1)<br>(2) 2) 3)    | (1)-1)<br>(2)-1)、2)    |
| 8           | 国、社会の求める理想の教師像（保育者像）について意見交換をし、子ども、親の求める教師像（保育者像）との比較をする。             | (1) 1)<br>(2) 2) 3)    | (1)-1)<br>(2)-1)、2)    |
| 9           | 教職に就いたらどのような子どもに育てたいのか自分の考えを具体的に述べる。                                  | (1) 1)<br>(3) 1) 2)    | (1)-1)<br>(3)-1)、2)    |
| 10          | 教員に課せられた服務上、身分上の義務について学ぶ。   | (3) 3)                 | (3)-3)                 |
| 11          | 指導力不足、教員の精神的疾患による休職等、教育現場で起きている問題について理解する。                            | (2) 2)<br>(3) 3)       | (2)-1)<br>(3)-3)       |
| 12          | 幼稚園に通う子どもたちだけでなく、地域の子育て家庭の支援の重要性を理解する。                                | (3) 1)                 | (3)-1)                 |
| 13          | 幼稚園内の教職員や専門機関との連携の必要性について学ぶ。  | (4) 1)                 | (4)-1)                 |
| 14          | 専門職として職務を遂行するためには、学び続けることの必要性を理解する。                                   | (3) 2)                 | (3)-2)                 |
| 15          | 幼児教育の現状を踏まえ、これからの教員（保育者）に求められるものは何かを理解する。                             | (2) 3)<br>(3) 1) 2)    | (2)-2)<br>(3)-1)、2)    |
| 定期試験        | 実施しない   |                        |                        |
| 成績評価方法      | 授業への取り組み 30% 課題レポート 70%   |                        |                        |
| テキストおよび参考文献 | 『現代教師論』山口短期大学<br>『保育白書』   |                        |                        |
| メッセージなど     | 教職とはどういうものなのか。人が人を育てることの重さを伝えながら、子どもや保護者と共に育っていきける自分を発見できるようすすめていきます。 |                        |                        |

ルーブリック評価を用いた成績評価

| 到達目標  | 優              | 良                  | 可                     | 不可         | 評価手段                                      | 評価比率      |
|---|----------------|--------------------|-----------------------|------------|---|-----------|
| (1)-1) 幼稚園教育の目的とその担い手である教員（保育者）の存在意義について説明できる。            | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）<br>授業への取り組み（関心・意欲・態度） | 5%<br>10% |
| (1)-2) 他の職業と幼稚園等教職である専門職を比較することを通して理解している。                | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 10%       |
| (2)-1) 子どもたちのおかれている社会の現状について具体的に述べることができる。                | ほぼ完璧に述べることができる | 大きな間違いがなく述べることができる | おおまかな現状については述べることができる | 述べることができない | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）<br>授業への取り組み（関心・意欲・態度） | 5%<br>10% |
| (2)-2) 幼児教育観の変遷を踏まえ、今日の教員（保育者）に求められる役割を説明できる。             | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 10%       |
| (2)-3) 今の教員（保育者）に求められる基礎的な資質能力を説明できる。                     | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）<br>授業への取り組み（関心・意欲・態度） | 5%<br>10% |
| (3)-1) 幼児への指導及び地域の子育て家庭への支援等、教員（保育者）の職務の全体像を説明できる。        | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 10%       |
| (3)-2) 専門職として適切に職務を遂行するため、学び続けることの必要性、重要性を具体的に述べることができる。  | ほぼ完璧に述べることができる | 大きな間違いがなく述べることができる | おおまかな現状については述べることができる | 述べることができない | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 10%       |
| (3)-3) 教員に課せられる服務上、身分上の義務を説明できる。                          | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 5%        |
| (4)-1) 幼稚園内の教職員や専門性を持つ人材と連携し、組織的に諸課題に対応することの重要性について説明できる。 | ほぼ完璧に説明できる     | 大きな間違いがなく、基本を説明できる | 最低限の基本を説明できる          | 説明できていない   | 課題レポート（思考力・判断力・表現力）                       | 10%       |